

専 門 教 養
令和 3 年 7 月
60 分

受 験 教 科 等
高 等 学 校 福 祉

注 意

- 1 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。
- 3 机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものをを出してはいけません。
- 4 他の受験者の迷惑になるような行為、スマートフォン等の使用及び不正行為をしてはいけません。
- 5 解答時間は60分です。途中退出はできません。
- 6 問題冊子のページ数は、17ページです。はじめにページ数を確かめてください。
- 7 解答用紙に、**必要事項が正しく記入・マークされていない場合には、解答は全て無効**となります。解答用紙の【1】の欄には、**受験番号を記入し、受験番号に対応する数字をマーク**してください。【2】の欄には、**氏名を記入**してください。ただし、【3】の選択問題を表す欄のマークは**不要**です。
- 8 問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 9 問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成30年告示の「学習指導要領」を表しています。
- 10 問題の内容についての質問には一切応じません。

解答上の注意

- 1 解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。各問に対して、正答は一つだけです。**各解答欄に二つ以上マークした場合は誤り**とします。
- 2 「解答番号は 。」と表示のある問に対して、3と解答する場合には、次の（例）のように解答番号 の解答欄の③にマークしてください。

(例)

解答番号	解答欄
<input type="text" value="1"/>	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖



1 学習指導要領に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 高等学校学習指導要領福祉の「介護福祉基礎」の「目標」に関する記述として適切なものは、次の**1**～**4**のうちのどれか。解答番号は **1**。

- 1 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、介護及び支援の適切な実践に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
- 2 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、地域福祉や福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
- 3 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、適切な介護の実践に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
- 4 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

[問 2] 高等学校学習指導要領福祉の「各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い」に関する記述として適切なものは、次の**1**～**4**のうちのどれか。解答番号は **2**。

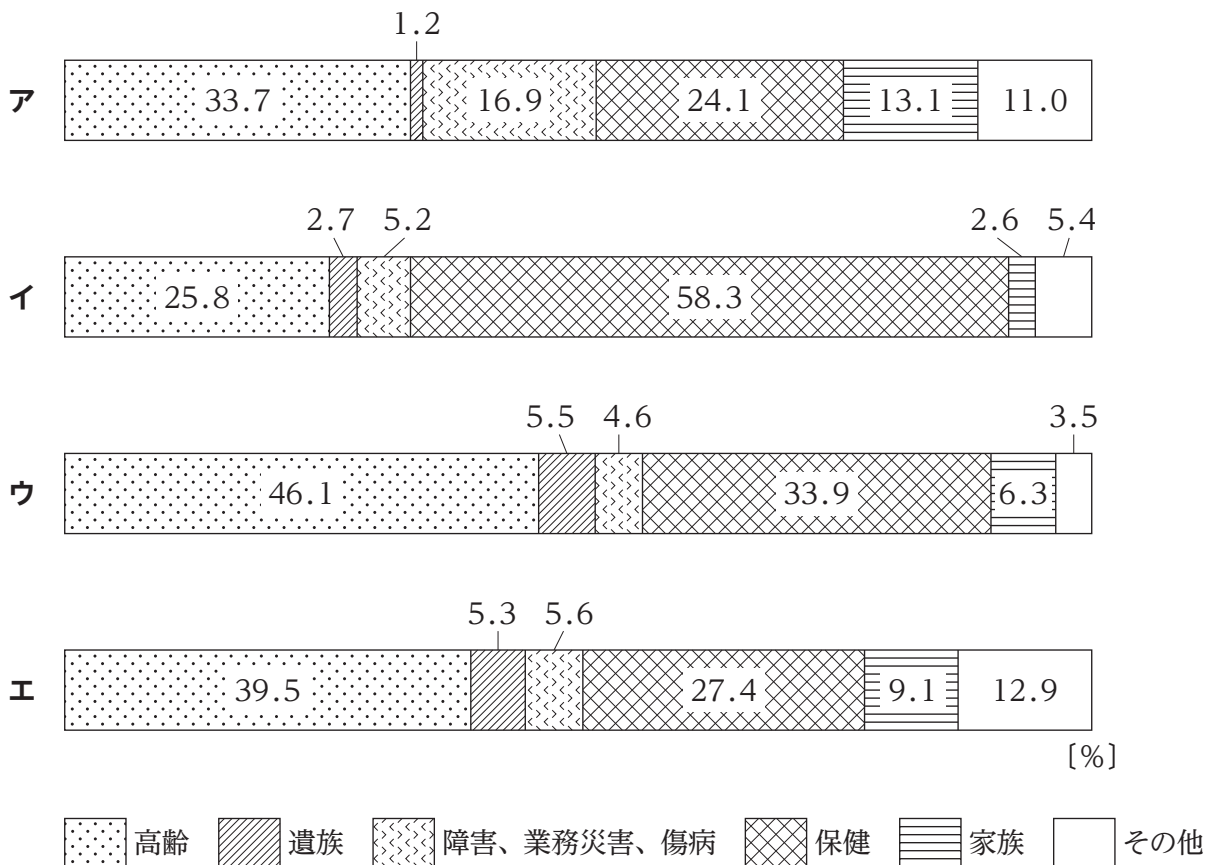
- 1 福祉に関する各学科においては、「介護実習」及び「福祉と情報」を原則として全ての生徒に履修させること。
- 2 福祉に関する各学科においては、原則として福祉科に属する科目に担当する総授業時数の10分の3以上を実験・実習に担当すること。
- 3 「コミュニケーション技術」や「生活支援技術」における現場実習及び具体的な事例の研究や介護計画作成に際しては、プライバシーの保護に十分留意すること。
- 4 地域や福祉施設、産業界等との連携・交流を通じた実践的な学習活動や就業体験活動を積極的に取り入れるとともに、社会人講師を積極的に活用するなどの工夫に努めること。

2

「社会福祉基礎」に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次の図は、2015年度の政策分野別社会支出の構成割合の国際比較を表したものであり、図中ア～エはそれぞれアメリカ、日本、スウェーデン、フランスのいずれかである。ア～エに当てはまる国名の組合せとして適切なものは、下の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

図



※ 数値は四捨五入されているので、合計と一致しないことがある。

(国立社会保障・人口問題研究所「平成30年度 社会保障費用統計」
(令和2年10月) から作成)

	ア	イ	ウ	エ
1	アメリカ	フランス	日本	スウェーデン
2	スウェーデン	アメリカ	日本	フランス
3	スウェーデン	日本	フランス	アメリカ
4	フランス	日本	スウェーデン	アメリカ

[問 2] 我が国における社会福祉の法令に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 障害者基本法では、国民の間に広く基本原則に関する関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加することを促進するため、障害者週間を設けている。障害者週間は、12月3日から12月9日までの1週間としている。
- 2 老人福祉法では、老人は、多年にわたり社会の進展に寄与してきた者として、かつ、豊富な知識と経験を有する者として敬愛されるとともに、生きがいを持てる健全で安らかな生活を保障されるものとする。福祉の措置の対象は、60歳以上の者と60歳未満の者であって特に必要があると認められる者とする。
- 3 児童福祉法では、児童とは、満16歳に満たない者をいい、全て児童は、児童の権利に関する条約の精神にのっとり、適切に養育されること、その生活を保障されること、愛され、保護されること、その心身の健やかな成長及び発達並びにその自立が図られることその他の福祉を等しく保障される権利を有するとしている。
- 4 生活保護法では、国が生活に困窮する全ての国民に対し、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、その最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的とする。保護の種類は、生活扶助、教育扶助、住宅扶助、医療扶助、出産扶助、生業扶助の全6種類としている。

[問 3] 合理的配慮に関する記述として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 合理的配慮は、障害者の権利に関する条約において、「調整又は特別な設計を必要とすることなく、最大限可能な範囲で全ての人を使用することのできる製品、環境、計画及びサービスの設計をいう」と定義されている。
- 2 合理的配慮は、我が国においては、平成25年の障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律において、「社会的障壁の除去を必要としている障害者が現に存し、かつ、その実施に伴う負担が過重でないときは、その実施について必要かつ合理的な配慮がされなければならない」ことが初めて規定された。
- 3 合理的配慮は、障害者が受ける制限は、障害のみに起因するものではなく、社会における様々な障壁と相対することによって生ずるものとのいわゆる「医学モデル」の考え方を踏まえたものである。
- 4 合理的配慮は、障害者等の利用を想定して事前に行われる建築物のバリアフリー化、介助者等の人的支援、情報アクセシビリティの向上等の環境の整備を基礎として、個々の障害者に対して、その状況に応じて個別に実施される措置である。

3 「介護福祉基礎」に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 我が国の社会福祉の各分野で作成される計画に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 福祉事務所の介護支援専門員は、介護保険法に基づき、居宅サービスや地域密着型サービスなどの利用に向け、ケアプランを作成する。
- 2 児童相談所の児童福祉司は、児童福祉法に基づき、児童養護施設に入所中の児童やその家庭の状況等を勘案して、自立を支援するための計画を作成しなければならない。
- 3 指定特定相談支援事業者の相談支援専門員は、障害者総合支援法に基づき、利用者等が介護給付を希望する場合などに、サービス等利用計画を作成する。
- 4 地域包括支援センターの社会福祉主事は、生活保護法に基づき、生活保護受給者が自立に向けて取り組む際の、自立更生計画書を作成しなければならない。

[問 2] 介護保険法における居宅サービスに関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 「訪問介護」は、在宅において、病状の観察や褥瘡^{じよくそう}の処置、ターミナルケア等、療養上の世話又は診療の補助などを行うサービスを提供することであり、食事・排せつ・清潔の管理及び援助なども行う。
- 2 「福祉用具貸与」は、要介護高齢者などに対して、日常生活を適切に送れるよう、その自立を助けると同時に、介護負担を軽減するために用具を貸与するサービスを提供することであり、13種類の用具の貸与がある。
- 3 「居宅療養管理指導」は、利用者の自宅を医師や歯科医師などが訪問し、医学的な情報提供、口腔衛生の管理指導、薬剤についての副作用や投薬状況の説明などを行うサービスを提供することであり、ケアマネージャーの給付管理の対象である。
- 4 「通所リハビリテーション」は、要介護高齢者が養護老人ホームや老人デイサービスセンターに通所し、心身機能の維持・回復や自立するためのリハビリテーションを行うサービスを提供することであり、家族の介護負担の軽減を図ることが目的である。

[問 3] 高齢者施設に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は

8。

- 1 介護老人保健施設は、要介護者であって、主としてその心身の機能の維持回復を図るために、居宅サービス計画に基づいて日常生活上の世話を行うことを目的とする施設である。病状が安定して入院の必要がないことが入所条件である。
- 2 介護医療院は、長期にわたる療養を必要とする要介護者に対し、療養上の管理、看護・医学的管理のもと、介護、機能訓練、必要な医療などのサービスを提供する施設である。2024年度に廃止されることが決まっている。
- 3 軽費老人ホームは、「環境上の理由」及び「経済的理由」で在宅での生活が困難な高齢者に対して、自立した生活を営むことができるように支援する施設である。施設サービス計画に基づき、利用することができる。
- 4 特別養護老人ホームは、入浴・排せつ・食事などの介護や日常生活上の世話、機能訓練、健康管理、相談などのサービスを提供する施設である。原則として要介護 3 以上の者が施設サービス計画に基づき、利用することができる。

4 「コミュニケーション技術」に関する次の問に答えよ。

[問] アメリカの社会福祉学者であるバイステックが唱えた7つの原則に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は **9**。

- 1 統制された情緒的関与とは、利用者を一方的に非難したり、決めつけたり、裁いたりすることである。
- 2 意図的な感情表出とは、援助者自身の感情を吟味しつつ、利用者には意図的に反応することである。
- 3 個別化とは、援助にあたってそれぞれの利用者に最適の援助方法を実現しようとすることである。
- 4 非審判的態度とは、利用者の態度や行動を、道徳的・感情論的な立場から、批判や是認などをすることである。

5 「生活支援技術」に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 介護場面における移動や移乗のための用具等に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 据置式リフトは、床又は地面に置いて、その機器の可動範囲内で、つり具又はいすなどの台座を使用して人を持ち上げて移動させることができるものである。
- 2 トランスファーボードは、身体の下に敷いてすべらせて移動させることができ、少しの力で身体の移動や体位変換を行うことができるものである。
- 3 介助用の車いすは、後ろから介助者が操作するタイプの車いすで、ハンドグリップにブレーキがついており、また、駆動輪にはハンドリムがついているので、自走することができるものである。
- 4 回転移動盤は、器具の台座から伸びた支柱に覆い被さるように前傾する形で体幹を乗せることで、回転機能をつかって身体の向きを変えて移乗することができるものである。

[問 2] 食事の介護に関する記述として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 介護者は、嚥下機能が低下している人に対して、パンやカステラなどのスポンジ状の食品や、お茶やみそ汁などのさらさらした液体を、食事として与えた。
- 2 介護者は、ベッドの上で食事をする人に対して、頸部後屈姿勢にすることで、誤嚥を防止するとともに、食べやすく、飲み込みやすい体勢にした。
- 3 介護者は、視覚障害のある人に対して、食事の提供をするとき、料理などの位置関係についてクロック・ポジションを用いて説明した。
- 4 介護者は、高張性脱水になっている人に対して、体内のナトリウム量が減少し、血液中のナトリウム濃度が低くなっているため、経口補水液を与えた。

[問 3] ファーストエイドに関する記述として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 気道に異物が詰まったとき、喉をつかんだり、かきむしったりするような動作のことをバイタルサインという。
- 2 開放性骨折では、骨折部や変形を正常に戻してから、患部を副子等を用いてすぐに固定する必要がある。
- 3 ガーゼや三角巾等の準備がすぐに行えないとき、傷口より心臓に近い動脈を手のひらや指で圧迫して止血する方法を直接圧迫止血法という。
- 4 成人では、出血により体内の血液の20%が急速に失われると出血性ショックとなり、30%以上失うと生命に危険を及ぼすといわれている。

[問 4] 喀痰吸引に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 介護福祉士が実施できる口腔内及び鼻腔内の喀痰吸引は、喉頭の手前までである。
- 2 痰が貯留することで空気の通り道を塞いでいる状態を低酸素状態という。
- 3 からだの中の水分が不足している場合は、痰が乾燥して粘り気が弱くなる。
- 4 重力を利用して痰を出しやすくする姿勢をとることを体位ドレナージという。

6 「介護過程」に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 小規模多機能型居宅介護に関する記述として適切なものは、次の**1**～**4**のうちのどれか。解答番号は **14**。

- 1 小規模多機能型居宅介護は、1事業所あたりの利用登録定員数が、2015年に29人以下から25人以下へと改められた。
- 2 小規模多機能型居宅介護は、利用者の希望や心身状態などに応じて、通い、訪問、泊まりのサービスを適切に組み合わせて提供するものである。
- 3 小規模多機能型居宅介護は、2005年の介護保険法の改正により、翌年、居宅サービスの一つとして創設された。
- 4 小規模多機能型居宅介護の事業所には、医師、介護職員、介護支援専門員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の全ての配置が義務付けられている。

[問 2] ICFに関する記述として適切なものは、次の**1**～**4**のうちのどれか。解答番号は **15**。

- 1 ICFは、ICIDHの改訂版として、1980年にWHO総会で採択されたもので、WHOの国際分類ファミリーの一部として位置付けられる。
- 2 ICFは、「健康状況と健康関連状況、結果、決定因子を理解し、研究するための科学的基盤の提供」を目的の一つとしている。
- 3 ICFは、インペアメント、ディスアビリティ、ハンディキャップの用語を用いて3つのレベルの障害について定義している。
- 4 ICFは、障害のある人だけに関する分類であり、その人の生活機能におけるマイナス面を減らしていくという考え方に立っている。

7 「介護実習」に関する次の各問に答えよ。

〔問 1〕 高等学校学習指導要領福祉の「介護実習」の「内容の取扱い」において配慮するものとされている事項に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は **16**。

- 1 「多様な介護の場における実習」については、多様な介護の場における実習を通して、サービス利用者について理解できるよう留意して指導すること。また、「介護総合演習」と関連付けて指導すること。
- 2 「個別ケアを理解するための継続した実習」については、人間の尊厳、自立生活の支援、多職種協働の視点から捉え、生活の継続性に配慮した支援の在り方と関連付けて指導すること。
- 3 「多様な介護の場における実習」の「コミュニケーションの実践」については、サービス利用者とのコミュニケーションや具体的な福祉実践の場を想定した事例について扱うこと。
- 4 「個別ケアを理解するための継続した実習」については、サービス利用者の尊厳を保持した自立生活の支援方法、潜在的能力を引き出す支援について扱うこと。また、安全で安楽に介護するための技法について扱うこと。

[問 2] 「福祉系高等学校等の設置及び運営に係る指針」(文部科学省 厚生労働省 平成30年)の「実習に関する事項」に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。
解答番号は 。

- 1 介護実習Ⅰは、一つの施設・事業等において一定期間以上継続して実習を行う中で、利用者の課題を明確にするための利用者ごとの介護計画の作成、実施、実施後の評価やこれを踏まえた計画の修正といった介護過程を展開し、具体的な介護サービスの提供の基本となる実践力を修得することに重点を置いた内容とすること。
- 2 介護実習Ⅱは、利用者の生活の場である多様な介護現場において、個々の利用者の生活リズムや個性を理解した上で個別ケアを理解し、利用者及び家族との関わりを通じたコミュニケーションの実践、介護技術の確認、多職種協働や関係機関との連携を通じたチームの一員としての介護福祉士の役割について理解することに重点を置いた内容とすること。
- 3 介護実習Ⅰを行うのに適切な介護実習施設等の選定に当たっては、介護実習Ⅱを含めた介護実習全体で特定の施設・事業等の種別に片寄ることのないよう、高齢者を対象とした施設・事業等、障害者を対象とした施設・事業等、児童等を対象とした施設・事業等で多様な経験・学習ができるように配慮すること。
- 4 介護実習Ⅱを行う介護実習施設等の基準のうち、介護職員に占める介護福祉士の割合の基準については、常勤の介護職員のうち介護福祉士の人数が1割以上であれば満たすものであること。

8 「介護総合演習」に関する次の各問に答えよ。

[問 1] マッピング技法に関する次の記述**ア・イ**と、その名称A～Cとの組合せとして適切なものは、下の**1～6**のうちのどれか。解答番号は **18**。

ア ハルトマンによって考案され、利用者や家族、取り巻く人間関係や社会資源などのネットワークを図式化したものである。

イ ボーエンらによって考案され、利用者を中心とした3世代以上の家族の関係性を図式化したものである。

A ジェノグラム

B エコマップ

C ファミリーマップ

1 **ア**-A **イ**-B

2 **ア**-A **イ**-C

3 **ア**-B **イ**-A

4 **ア**-B **イ**-C

5 **ア**-C **イ**-A

6 **ア**-C **イ**-B

[問 2] 次の記述は、「日本介護福祉士会 倫理基準（行動規範）」の一部である。記述中の空欄
[ア] ~ [エ] に当てはまるものの組合せとして適切なものは、下の 1 ~ 4 のうちの
どれか。解答番号は [19] 。

(専門的サービスの提供)

- 1 介護福祉士は、利用者の生活の質の向上を図るため、的確な判断力と深い洞察力を養い、[ア] に基づいた専門的なサービスの提供に努めます。
- 2 介護福祉士は、常に専門職であることを自覚し、質の高い介護を提供するために向上心を持ち、[イ] の研鑽に励みます。
- 3 介護福祉士は、利用者を一人の生活者として受けとめ、豊かな感性を以て全面的に理解し、[ウ] し、専門職として支援します。
- 4 介護福祉士は、より良い介護を提供するために振り返り、[エ] に努めます。

- | | | | | |
|---|---|--------|---|---------------|
| 1 | ア | 福祉理念 | イ | 専門的知識・技術 |
| | ウ | 受容 | エ | 質の向上 |
| 2 | ア | 福祉理念 | イ | 専門的な視点と効果的な方法 |
| | ウ | 擁護 | エ | 自身の健康管理 |
| 3 | ア | 利用者ニーズ | イ | 専門的知識・技術 |
| | ウ | 受容 | エ | 自身の健康管理 |
| 4 | ア | 利用者ニーズ | イ | 専門的な視点と効果的な方法 |
| | ウ | 擁護 | エ | 質の向上 |

9

「こころとからだの理解」に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 一次救命処置に関する記述として、「JRC蘇生ガイドライン2015」（一般社団法人日本蘇生協議会）に照らして適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は

20

- 1 死戦期呼吸とはしゃくりあげるような不規則な呼吸であり、心停止直後の傷病者でしばしば認められる。この場合は「呼吸あり」と判断し、速やかに気道を確保し、回復体位をとらせる。
- 2 訓練を受けていない救助者は、胸骨圧迫のみのCPR（心肺蘇生）を行う。訓練を受けたことがある救助者であっても、気道を確保し人工呼吸をする技術または意思がない場合は、胸骨圧迫のみのCPRを行う。
- 3 胸骨圧迫の部位は、胸骨の下半分とし、深さは胸が約5cm沈むように圧迫する。1分間当たり150回以上のテンポで行う。
- 4 AEDを使用する場合、未就学の小児に対しては、小児用パッドを使用する。小児用パッドがない場合には、過剰な通電量で心筋障害が生じるおそれがあるため、成人用パッドを用いてはならない。

[問 2] 睡眠に関する記述として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は

21

- 1 睡眠は、レム睡眠開始からノンレム睡眠終了までが一つの睡眠単位になっており、朝方までに4～5回の睡眠周期が繰り返される。
- 2 脳内にある松果体から分泌されるメラトニンは、睡眠を促進する作用があり、生体時計を調整する。メラトニンは、夜間に分泌が増えて、昼間低下する。
- 3 脳下垂体前葉から分泌される成長ホルモンは、レム睡眠中に分泌され、からだの成長や修復、疲労回復に重要な役割をもつ。
- 4 睡眠の際に、副腎髄質から分泌されるコルチゾールは、ストレスに対抗する作用があり、ストレスに応じて分泌量が増大し、血糖値を上昇させる。

[問 3] 排便障害の一つである便秘に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 器質性便秘は、大腸などの病気を原因とし、大腸が部分的に狭くなるなど、便が通過しにくい状態になると起こる。
- 2 直腸性便秘は、加齢や運動不足による腸管の緊張低下や筋力低下、食物繊維の不足などを原因とし、腸のぜん動運動が低下すると起こる。
- 3 けいれん性便秘は、便意を我慢する習慣を原因とし、腹筋が弱く腹圧がかけられないために便を出せなかったり、排便反射が低下したりすると起こる。
- 4 弛緩性便秘は、主にストレスを原因とし、大腸の緊張により、腸管が細くなり便が通過できないと起こる。

10 「福祉情報」に関する次の問に答えよ。

[問] 情報セキュリティの3要素に関する次の記述**ア・イ**と、その名称A～Cとの組合せとして適切なものは、下の**1～6**のうちのどれか。解答番号は **23**。

ア 許可された者が、必要な時に情報や情報資産にアクセスできることを確実にすること。

イ 情報や情報の処理の方法が、正確で完全であるようにすること。

A 機密性

B 完全性

C 可用性

1 **ア**－A **イ**－B

2 **ア**－A **イ**－C

3 **ア**－B **イ**－A

4 **ア**－B **イ**－C

5 **ア**－C **イ**－A

6 **ア**－C **イ**－B

